

連合2017平和行動がスタート!

平和行動 in 沖縄に連合長崎から28名が参加

沖縄の「慰霊の日」である6月23日(金)から25日(日)の3日間「平和行動 in 沖縄」が開催され、連合長崎からは森会長を団長に総勢28名が参加しました。

1日目は浦添市てだこホールにおいて2017平和オキナワ集会が開催され、全国から1,100人の参加がありました。「沖縄の縮図・伊江島から学ぶ」と題して伊江島観光バスの山城克己さんの講演がありました。伊江島は沖縄本島の北西部に位置する離島。沖縄の地上戦でたくさんの方々が犠牲になり、戦後も島の半分以上が米軍に航空基地として支配されていたなど、沖縄の縮図と言われている地であります。戦争が終わったあとも、木の上に隠れていた日本兵の話、未だに海岸に流れ着く火薬の数々。まだ、沖縄の戦後は終わってないと実感する講演でした。

その後開催された平和式典では、沖縄戦で亡くなられたすべての人々に哀悼の意を捧げ、国民が安心して暮らせるよう「在日米軍基地の整理・縮小」と「日米地位協定の抜本的見直し」を強く求め、今後も粘り強く平和運動を推進していこうという平和アピールが採択されました。

2日目は、「旧海軍司令部壕」「ひめゆりの塔」など大戦時、唯一地上戦が行われた沖縄戦の戦跡を巡るフィールドワークを行いました。系数アブチラガマは戦時中陸軍病院・系数分室として使われ、ひめゆり学徒隊が配属されたガマ(洞窟)で、たくさんの方が亡くなってい



基地問題を訴えデモ行進

ます。ガマ内の暗さ・当時のガマ内の状況の説明・生存者から聞いたという実話。戦時中の惨禍が実際に起こった現場に立って説明を受けるということは、映像・文字で見るよりも大変迫力があり、改めて戦争の悲惨さを実感する体験でした。2日目の最後には県庁前県民広場において集会が開催され、国際通りを牧志公園までデモ行進を行い、基地問題、安倍政権の暴走反対を参加者全員で訴えました。

大戦の中で、たくさんの民間人が犠牲になった沖縄そして長崎。大戦で尊い犠牲を払い、現在もなお米軍基地の約7割が集中しているという沖縄の現状を学び、今後も粘り強く平和を訴えていこうと参加者それぞれが感じる事が出来た3日間でした。

この沖縄から戦後72年目の連合の平和行動はスタートしますが、広島・長崎・根室へと引継ぎ、「平和の大切さ・尊さ」の思いをたくさんの人々に伝えていきましょう。



嘉数高台から普天間基地を眺める



長崎からの参加者28人

～働くことを軸とする安心社会の実現に向けて～

政策・制度学習会で理解を深める

連合長崎は、働く者・生活者が求める政策・制度の実現に向け、毎年長崎県に対し(各地協は市町に対し)、政策・制度要求行動を行っています。

この政策・制度実現に向けた取り組みに理解を深めるため、5月18日(木)18:15～長崎県勤労福祉会館2階講堂において「連合長崎2017年度 政策・制度学習会」を開催し、構成組織、地協・ブロック、また政党・各級議員より約70名が出席しました。

学習会では、「わが国が直面する課題と『2018年度連合の重点政策(案)』」、「『働き方改革実行計画』と今後の動向について」と題し、2本の講演がありました。超少子高齢化と新たな産業革命による産業構造の変化が予想されるなか、働く者の立場から様々な政策を要求し、それを審議会や検討会・政党等を通じて実現に向けての取り組みを行っているという説明がありました。

また、連合長崎の芳川副事務局長より、現在取りまと

め中の「長崎県に対する政策制度要求書(案)」について提起いたしました。要求書は、参加者の意見などを踏まえて最終的な内容を確定し、長崎県に対し8月上旬に提出する予定です。

【連合の重点政策】

- ①東日本大震災からの復興・再生の着実な推進
- ②経済・産業政策と雇用政策の一体的推進
および中小企業・地域産業への支援強化
- ③「公平・連帯・納得」の税制改革の実現
- ④長時間労働是正に向けた法整備と
労働者保護ルールの堅持・強化
- ⑤すべての労働者の雇用の安定と公正処遇の確保
- ⑥すべての世代が安心できる社会保障制度の確立と
ワーク・ライフ・バランス社会の早期実現
- ⑦「子どもの貧困」の解消に向けた政策の推進



働き方改革の今後の動向を説明する
黒田局長



連合の重点政策を説明する
春田局長



政策制度実現の重要性を訴える
本多政策委員長

6月は男女平等月間!

連合長崎は男女平等に向けた取り組みを進めています



自身の体験をふまえながら講演する
儀間さん

★男女平等月間学習会の開催

6月3日(土)長崎県勤労福祉会館で開催し、約90人の方に参加いただきました。今年は、最近ニュース等でも見聞きすることが多くなりましたLGBTについて学ぶということで、Take it/虹 代表の儀間由里香さんに「LGBTってなんだろう?」と題し、講演いただきました。ご自身も性的マイノリティーとして悩まれた経験をふまえ、LGBTの様々な苦悩と現状を分かりやすく説明いただきました。①当事者の数は人口の7.6%、長崎県人口で換算すると約10万人いる計算となり、身近な事であるが、誰にも相談できず、自分を出せずにいる人がいること。②「男は男らしく女は女らしく」が当たり前の社会の中で、自分自身をも受け入れられず、社会生活に支障をきたし、自殺に追い込まれる当事者もいること。③様々な問題を解決するには、性別は、あてはめるものではなく当事者自身が決めることであることを知り、多様性を知ること。当事者それぞれに望む対応は様々なので、対話が大事であること等、大変考えさせられる内容でした。最後に、連合から「LGBTに関する職場の意識調査」の結果報告があり、職場でどう受け止められているか 課題など発表がありました。連合はこの調査結果を活かして職場の取り組みをサポートし、新たな運動を展開していきます。

★長崎労働局雇用環境・均等室へ要請

連合長崎男女平等参画推進委員会・女性委員会および連合長崎は、6月30日(金)、長崎労働局雇用環境・均

等室に対し、「雇用における男女平等に関する要請書」を提出しました。

昨年4月には「女性活躍推進法」が施行、今年1月からは「育児・介護休業法」が改正、また今年4月には「くるみん認定・プラチナくるみん認定」の認定基準が変更されるなど、様々な改正が行われています。これらの内容の周知と趣旨の徹底を要請するとともに、連合長崎と雇用環境・均等室との連携強化を目的として行いました。

連合長崎を代表し、連合長崎男女平等参画推進委員会 松田委員長代行から長崎労働局雇用環境・均等室 新納広子室長に対し要請書を手交し、今回改正された「育児・介護休業法」により有期契約労働者の育児休業取得要件が緩和されたことを広く周知すること、今回の改正により、妊娠・出産・育児休業・介護休業に関するハラスメント防止措置の実施が各企業に義務づけられました。ハラスメント防止についての重要性を周知することなど8項目について要請しました。



新納室長に要請書を提出

要請を受けて、雇用環境・均等室 新納室長から

「育児・介護休業法」は今年10月にも改正が予定されており、また来年4月からは有期契約労働者の無期転換申込権の発生する時期となることから、様々な機会をとらえて周知徹底していきたいと、ご回答いただきました。

その後、働く女性の現状や課題に対して具体的にどう取り組んでいくかなど意見交換を行い、連合長崎と雇用環境・均等室が連携をはかりながら、労働者の処遇改善の促進に取り組むことを確認しました。

連合本部が実施した「LGBTに関する職場の意識調査」はホームページに詳しく掲載されていますので、興味がある方はご参照ください。

連合
長崎

「組織強化学習会」

～産別・単組を超えた学習と交流～

5月26日～27日に矢太楼において「組織強化学習会」が開催され、各組織・地協から63人の参加がありました。

今回は、株式会社アプレ コミュニケーションズの鹿野代表を講師として、2日間にわたる研修を受けました。「労働組合の今とリーダーに求められるもの」と題して講義を受けたあと、「組合の求心力を高めるために何に取り組むべきか」「理想のリーダー像とは？」の2つをお題に、各班でグループワークをしました。

今現在、日本の社会や労働組合が置かれている現状を見ながら、改めて労働組合の必要性や求められているリーダー像を語り合い、それぞれの組織に得たものを持ち帰って広げることができる学習会になりました。グループワークではKJ法やマインドマップを使い、みんなの考えや意見を整理・見える化する手法も、各組織で活かせるものでありました。

2日間にかけて泊りがけの研修でしたが、普段は出会うことのない、単組・産別を越えた交流ができました。労働組合の原点は仲間づくり。鹿野先生が提唱する「真ん中思考」(リーダーである以上、組織の真ん中に立ち、主体的に行動する。真ん中に立って行動した方が自分の成長につながり、将来の自分にとってもプラスになる)を実践すべく、今後も産別・地協とともに組織強化・拡大に取り組んでいきます。



真剣にグループワーク

まずは紙の塔のゲームで
アイスブレイク



工夫をこらして各班発表



2日間にわたる研修お疲れ様でした

アジア・アフリカ支援米活動！ 各地協での田植え今年も始まる！

今年も5月20日(土)の長崎地区からアジア・アフリカ支援米活動がスタートしました。



今年からは対馬ブロックでも支援米の取り組みを始めることとなり、8つの地協・ブロックにご協力いただいています。今年5月にくつくま孤児院に届いた様子の写真を展示して、現地の様子を参加者の皆さんに報告した地協もありました。



今年も、田植え・稲刈り、そして発送まで、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

長崎地区



諫早地区



島原地区



佐世保地区



北松地区



五島地区



大東地区



対馬地区



田植えの様子



オフィス ピークカットアクション

省エネにつながる12のワザ

空調

- 1 クール・ビズ、ウォーム・ビズ[※]を実践し、温度設定を控えめにする(夏期:28℃、冬期:20℃が目安)。
※クール・ビズ: 5～10月、ウォーム・ビズ:11～3月
- 2 扉やカーテン・ブラインドの使用、扇風機の活用などによる空調の効率化をはかる。

照明

- 3 昼休みや未使用時の事務所・会議室・トイレなどのこまめな消灯を心がける。
- 4 LED電球への買い換えや、可能な範囲で電球の数の間引きを行う。

冷蔵庫・自動販売機

- 5 温度設定を控えめにする(強にしない)。
- 6 扉の余分な開閉をせず、開閉時間も短くする。

トイレ

- 7 温水洗浄便座の使用や、温度設定を控えめにする。
- 8 使用後は必ず保温便座のふたを閉める。

職場でアクション オフィスピークカット!!

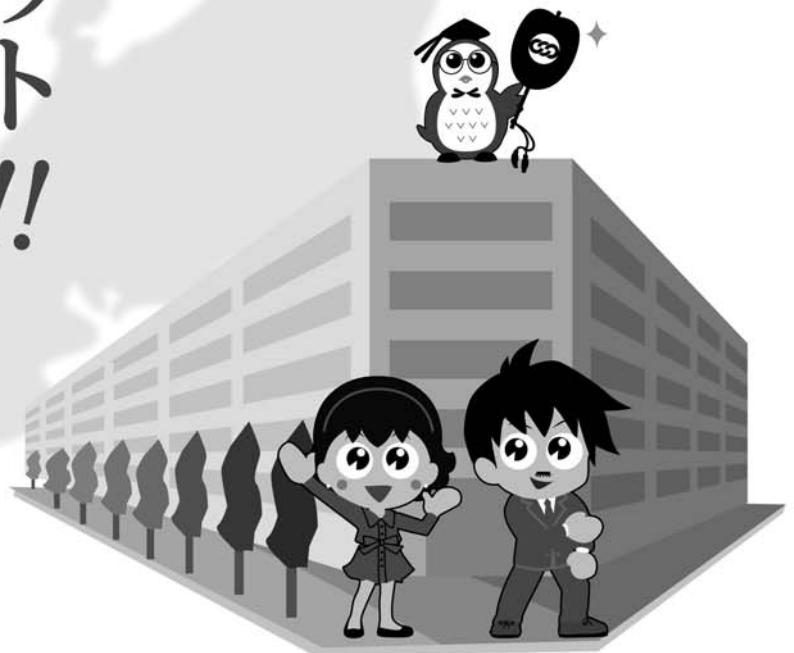
節電を含めた省エネは、安定したエネルギー供給を支える行動として、その重要性がますます高まっています。組合事務所や職場のみならず、連合が提案する「オフィス・ピークカットアクション」に取り組み、職場環境を見直しながら、省エネにつとめましょう!

OA機器

- 9 省エネモードを設定し、未使用時には電源をこまめに切る。
- 10 プリンター等の共有機器の使用台数を、必要最低限にする。
- 11 最終退室者は共有機器の主電源を切って退社する。

エレベーター

- 12 階段の利用を推奨し、エレベーターやエスカレーターの使用を最低限に制限する。



クラシノ
ソコアゲ
応援団!

RENGOキャンペーン
一人ひとりが主役です。

2017

連合エコライフ21

詳細はWebで! <http://www.rengo.org/>

エコライフ21

検索